



**GCA**

# 2020年12月期 第3四半期 決算説明資料

2020年11月13日



# ディスクレマー

本資料には、当社の事業及び業界動向についての当社自身による現時点での予測、仮定、推定に基づく将来の展望に関する記述が含まれています。これらの将来の展望に関する記述には、さまざまなリスクと不確実性が伴います。またこれらの記述には将来の予測と計画への言及、戦略の特定、経営成績および財政状態の予測を含み、その他の将来の見通しに関する情報も記載しております。既知および未知のリスク、不確実性、およびその他の要因により、実際の結果が将来の展望において見込まれた予測と大きく異なる可能性があります。潜在的なリスクと不確実性には、当社の、顧客を誘引し維持し続ける能力、事業において利益を計上する能力、コンピューターと電子システムを拡張しシステム障害を回避するためにこれらを維持し続ける能力、および株主との関係を維持する能力などを含みますが、これに限られるものではありません。本資料に掲載されている財務情報は、必ずしも一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠しているものではありません。本資料における将来の展望に関する記述は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる記述も更新し変更するものではありません。また、掲載された情報の内容の正確性、有用性、また適切性等について、当社は一切保証するものではなく、本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがあります。

# 1

---

## GCAについて

# 事業の概要

400+

コーポレートファイナンス  
プロフェッショナル

80+

マネージング  
ディレクター

25

拠点



## 欧州

バーミンガム  
フランクフルト  
ローザンヌ  
リーズ  
ロンドン  
マンチェスター  
ミラノ  
ミュンヘン  
パリ  
ストックホルム  
テルアビブ  
チューリヒ

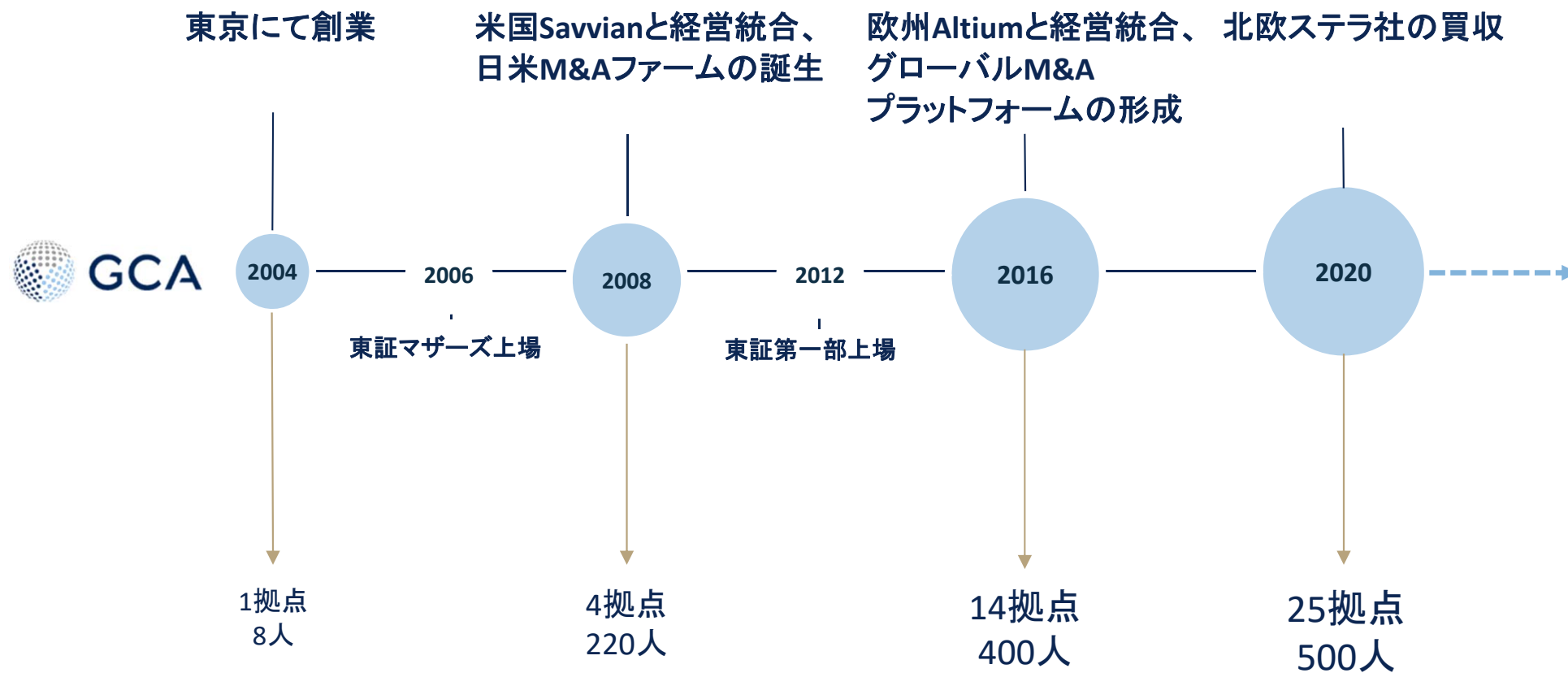
## 日本/アジア

福岡  
ホーチミン  
京都  
ムンバイ  
名古屋  
ニューデリー  
大阪  
上海  
シンガポール  
台北  
東京

## 北米

ニューヨーク  
サンフランシスコ

# 着実な成長の軌跡



# GCAの強み

M&A及び資本市場における助言サービスを提供する独立系グローバル投資銀行

1 日本/アジア、米国、欧州の3つのダイナミックな市場におけるグローバルビジネス

2 成長と健全な財務体質

3 テクノロジー、デジタルおよび関連セクターへのフォーカス

4 ESG・事業承継ビジネスを含む、新たな成長分野での実績



CREATING GROWTH  
AND LONG-TERM  
SHAREHOLDER  
VALUE

5 利害関係から独立し、常に中立的な立場でのアドバイス

6 クライアントとの強固なリレーションシップ

7 従業員・役職員が相当数の株式を保有(低い離職率)

8 固定配当を中心とした一貫した株主還元

# 2

---

## 2020年第3四半期のハイライト

# 125億円

2020 Q3累計のグループ収益

## 99

完了案件数

## +16%

新規受注

前年同期比

## 5.1%

配当利回り



## 2020年第3四半期の財務・業績のハイライト



### コロナ禍で引き続き耐性示すパフォーマンス

テクノロジー・デジタル関連セクターに注力した結果、2020年第3四半期の四半期収益は62億円、前年同期比1%増と力強い回復傾向を示す



### 完了案件の増加

2020年第1四半期から第3四半期に99件の案件を完了、前年同期比わずか10%減に留まる



### 堅調な新規案件獲得フロー

第3四半期の新規受注額は、前年同期比16%増と健全な新規案件獲得フロー



### 安定配当

35円/株の配当を維持、2020年9月30日までの9ヶ月間の平均株価に対し5.1%の配当利回り



### 通期の業績予想

年内完了案件の確実性が増していることから、2020年の通期の業績予想を発表



# 3

---

## 2020年第3四半期累計の業績

# 2020年第3四半期累計の業績

## 業績回復の兆し

科目	Non-GAAP		IFRS	
	FY2019 Q1-Q3 <sup>(1)</sup>	FY2020 Q1-Q3 <sup>(2)</sup>	調整 <sup>(3)</sup>	FY2020 Q1-Q3 <sup>(2)</sup>
<b>売上高</b>				
アドバイザー	15,006	11,546	56	11,602
アセットマネジメント	471	906		906
<b>売上高合計</b>	<b>15,478</b>	<b>12,452</b>	<b>56</b>	<b>12,509</b>
<b>費用</b>				
人件費	9,824	7,649	479	8,129
賃料・減価償却費	1,004	1,051		1,051
その他	2,356	2,142	56	2,199
<b>費用合計<sup>(4)</sup></b>	<b>13,183</b>	<b>10,843</b>	<b>536</b>	<b>11,380</b>
<b>営業利益</b>	<b>2,295</b>	<b>1,609</b>	<b>(479)</b>	<b>1,129</b>
	14.8%	12.9%		
<b>純利益</b>	<b>1,710</b>	<b>984</b>	<b>(479)</b>	<b>504</b>
	11.0%	7.9%		
<b>1株当たり利益<sup>(5)</sup> (円)</b>	<b>44.51</b>	<b>23.23</b>		<b>11.90</b>

注: (1) 2019年Q1-Q3平均為替レート: ¥109.15/USD および ¥139.05/GBP

(2) 2020年Q1-Q3平均為替レート: ¥107.60/USD および ¥136.80/GBP

(3) ステラ社買収時に買収対価として付与したGCA株式はIFRS上費用計上が求められますが、Non-GAAP上は買収関連費用として除外しております。協業先との報酬配分についてはNon-GAAP上、売上および費用双方から除外しております。

(4) 詳細は「付属資料: 費用の明細」を参照ください

(5) 純利益 ÷ 期中平均発行済株式総数 (自己株式を除く)

(6) 百万円未満切捨表示



# 2020年第3四半期末のバランスシート

十分な余裕資金を確保

科目	2019/12 <sup>(1)</sup>	2020/09 <sup>(2)</sup>	(百万円)
<b>資産</b>			
預金及び現金同等物	14,645	11,976	
営業債権及びその他の債権	2,983	2,287	
その他	1,502	1,992	
流動資産 計	19,130	16,256	
有形固定資産	4,599	4,094	
のれん及び無形資産	9,785	9,256	
その他	3,162	2,603	
非流動資産 計	17,546	15,954	
<b>資産合計</b>	<b>36,677</b>	<b>32,210</b>	
<b>負債</b>			
未払法人所得税等	970	579	
借入金	81	2,018	
リース負債	3,864	3,532	
その他	9,723	4,642	
<b>負債合計</b>	<b>14,638</b>	<b>10,772</b>	
<b>資本</b>			
株主資本	14,764	14,245	
利益剰余金	5,581	4,631	
その他	1,692	2,560	
<b>資本合計</b>	<b>22,038</b>	<b>21,437</b>	
<b>負債・資本合計</b>	<b>36,677</b>	<b>32,210</b>	

注: (1) 2019年12月31日の為替レート: ¥109.55/USD および ¥143.48/GBP

(2) 2020年9月30日の為替レート: ¥105.81/USD および ¥136.01/GBP

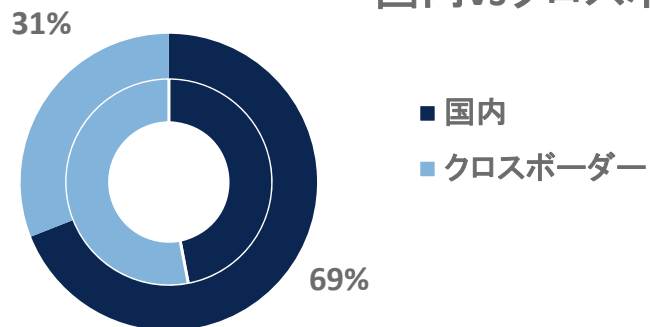
(3) 百万円未満切捨表示



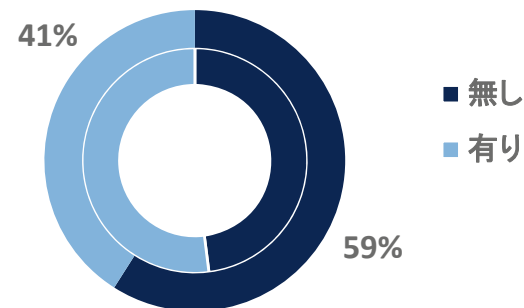
# 2020年第3四半期累計の取引内訳

2019年(内円)と比較して国内案件及び非PE案件が増加

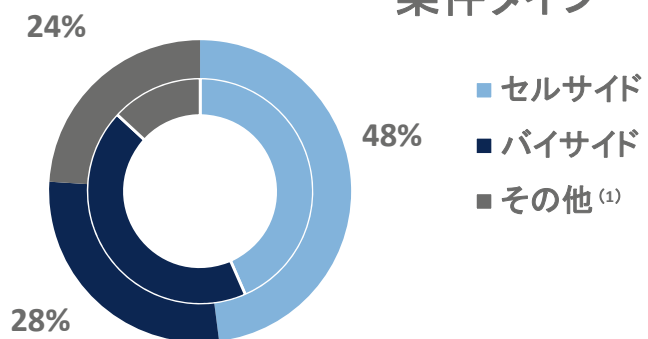
## 国内vsクロスボーダー



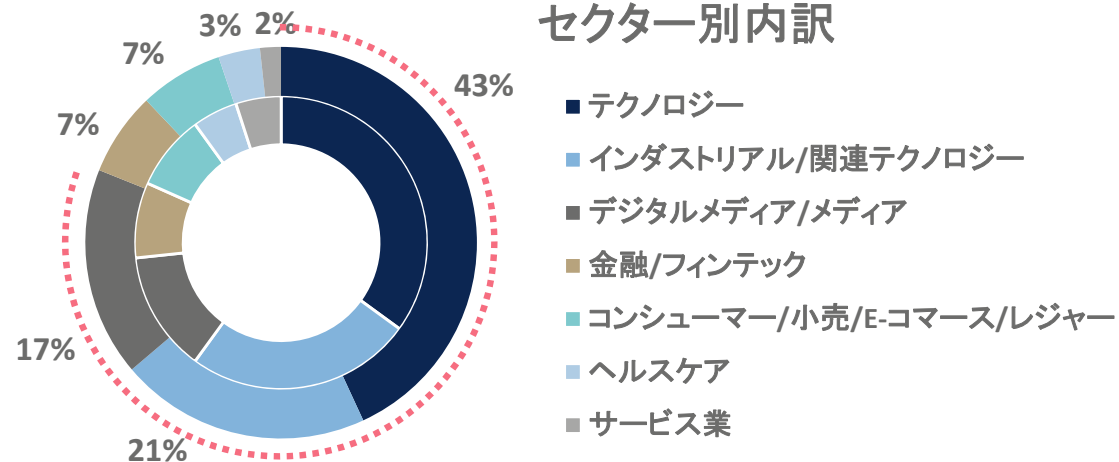
## PEの関与



## 案件タイプ



## セクター別内訳



広義のテクノロジー案件が81%を占める

注:(1) その他には、デットアドバイザー、リファイナンス、資本/資金調達、JV、合併、IPO、その他が含まれる  
(2) 完了・サインアップ案件数ベース

# 4

---

## 事業アップデート

# 現在のビジネス環境

## 現在の ビジネス環境 について

- M&A市場は、当社の注力領域であるテクノロジー・デジタル関連セクターで特に回復基調が見られる
- 現在、対面することなくリモートで案件を交渉および完了しており、ニューノーマルのM&Aプロセスが確立しつつある
- 地域毎の状況は以下の通り:
  - 欧州は引き続き回復基調をみせ、第3四半期は18件の案件を完了、更に完了待ちの成約案件数も過去最高水準
  - 米国は活況なテクノロジーM&A市場からの売上に牽引され、第3四半期はここ数年で非常に好調な業績を達成、マーケット全体を見ても、COVIDの影響と不安定な政治情勢にかかわらず、投資、M&A、IPO及びSPAC市場、特に高成長テクノロジーセクターへの投資は非常に活発
  - 日本はクロスボーダー案件を中心に活動が弱含みながらも、第2四半期に保留されていた案件の一部が再開、9月以降は新規受注が上昇したことから、第4四半期から2021年初頭にかけて回復の兆しがみられる
- 第3四半期の新規受注は欧米で好調、第3四半期累計の新規受注は前年同期比で16%増加し、その結果受注残高は対2019年12月比26%増、対2019年9月比15%増となった

## 2020年第3四半期の業績ハイライト

### GCA業績ハイライト

- 2020年第3四半期は前年同期比同等の40件の案件をクローズ。うち約80%はテクノロジー・デジタル関連セクター
- 欧州のデットアドバイザー事業、日本のアセットマネジメント事業(MCo)等、多様なサービスラインも好調を維持
- 2020年第3四半期売上高は前年同期比を上回る62億円を計上、結果第3四半期の累計収益は前年同期比19%減、上半期の33%減から改善
- グループ全体では事業活動に必要な運転資金を十分に確保、現時点において追加の資金調達の必要は認められない

## 配当

## 配当予想

- 配当予想は変更なし、1株当たり17.5円の期末配当を予定
- 2020年8月に支払われた1株当たり17.5円の間配当と合わせて、2020年度の年間配当金は1株当たり35円
- 配当利回りは2020年9月30日までの9か月間の平均株価の5.1%

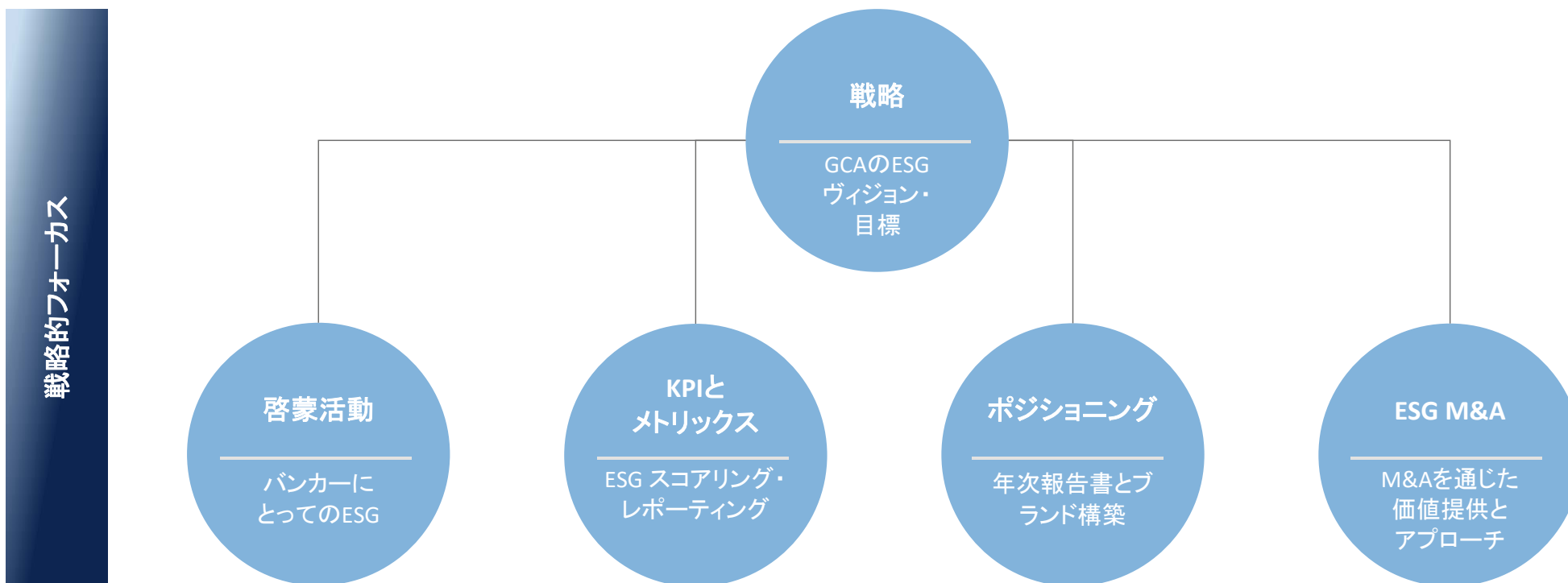


# ESGへの取り組み

ESGが戦略的に不可欠になるにつれ、活動を強化

**直近の主要案件**

 Bregal Unternehmerkapital acquired a minority stake in  Advisor to Bregal Unternehmerkapital	 mobysoft HUMAN INTELLIGENCE received investment from  eci building successful businesses Advisor to Mobysoft	 interactive services acquired by  LRN a partner company of LEEDS Equity Partners Advisor to Interactive Services	 sold to polytech Beyond the idea a portfolio company of verdane Advisor to fos4X	 amelieff sold majority shares to  PHC Healthcare with Precision Advisor to amelieff	 LUMINAR has agreed to merge with GORES METROPOULOS, INC. (NASDAQ:GMHI) \$3.4 Billion Advisor to Luminar (Pending)	 SCAD Stem Cell & Device - Kyoto Series C financing from  nascal tesque The quality for tomorrow Advisor to Stem Cell & Device Laboratory	 social chorus majority recapitalisation by  SEP SUMERU EQUITY PARTNERS Advisor to SocialChorus	 LUMINAR Preferred Financing \$170 Million Advisor to Luminar
---	--	---	---	--	--	---	--	--



# 5

---

## 業績予想

# 業績予想

- 2020年通期業績予想は、第4四半期の業績見通しを基に作成しておりますが、M&A市場の不確実性の影響を受け、実際の業績は当業績予想から増減する可能性があります。
- Non-GAAPからIFRSへの調整項目は主に2020年4月に完了したStella EOC社買収に伴う非現金支出費用となります。買収対価としてGCA株式を勤務要件付きで付与致しましたが、当該株式付与は取得対価ではなく報酬としてIFRS上費用計上されております。

(百万円)	2020年通期業績予想		
	Non-GAAP	調整	IFRS
売上高	18,000	-	18,000
営業利益	1,700	(880)	820
	9.4%		4.6%
純利益	1,000	(880)	120
	5.6%		0.7%
1株当たり利益 <sup>(2)</sup> (円)	23.60	(20.77)	2.83



注: (1) 2020年平均為替レート: ¥105.00/USD および ¥130.00/GBP  
 (2) 純利益 ÷ 期中平均発行済株式総数 (自己株式を除く)

# 付属資料

---

# 2020 Q3主要案件

厳しい環境にもかかわらず、着実なパフォーマンス



- ライフサイエンス分野のバイオ研究者を支援するバイオインフォマティクス技術スタートアップ企業
- PHCホールディングス(旧パナソニックヘルスケア)が事業拡大のため過半数株式を取得
- ESG案件



- 日本の大手食品メーカー昭和産業(TYO: 2004)による米油メーカーであるボソー油脂の公開買い付け(TOB)
- 上場企業2社による業界再編案件



- スイスの大手CRMソフトウェアソリューションプロバイダー
- スイス/ドイツ製の拡張可能で革新的なソフトウェアソリューションを提供すると同時に、その実装と使用において顧客をサポート



- DACH地域のプロセス業界中小企業向け大手独立系ソフトウェアベンダー
- プロセス業界における厳しい規制とクライアントの細かいニーズに対応できるソフトウェアソリューションを提供



- グローバルデータサイエンス/MarTech企業4CInsightsによる広告業界のグローバル記録システム大手MediaOceanの買収



- グローバルコンプライアンスオンライン学習会社 Interactive Services による倫理/コンプライアンス教育関連テクノロジー企業 LRN への売却
- 同分野における10件目の案件



- コンクリート製品の型枠/建築・土木用金物等の金属製品の製造・販売鹿島技研創業家による上場卸売業大手、ヤマエ久野(TYO: 8108)への売却案件
- 強力な地域的シナジーを見込む事業承継案件



- ドイツ/オーストリアの人材派遣会社向けソフトウェアの大手プロバイダー
- 合併により、同業界におけるヨーロッパ最大級の会社が誕生



- Luminarは、高速道路運転で応用可能な自動運転車向けLiDAR(光検出と測距)テクノロジーのグローバルリーダー
- オートモティブテクノロジー分野において過去5年で14件目の案件



- 英国ソーシャルハウジング市場向け予測分析ソフトウェアプロバイダー
- 公営住宅の家主による効率的な延滞金回収・管理を支援
- ESG案件の好事例

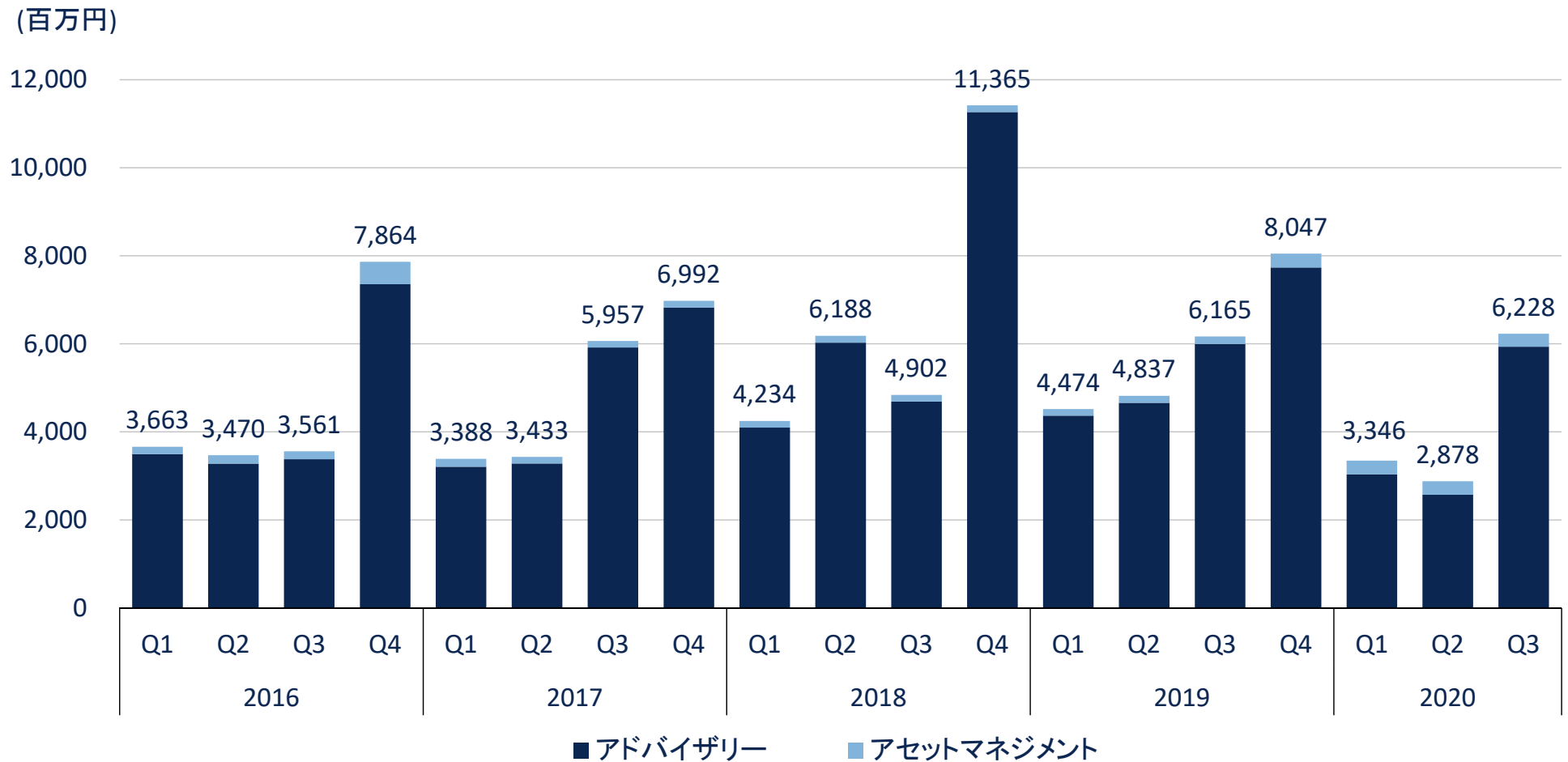


- ワークフォースコミュニケーションSaaS大手SocialChorusによる成長と製品イノベーション加速のための1億ドルの資金調達



- 鉄鋼、軌道用品、重工製品を展開する電炉メーカー大和工業(TYO: 5444)による子会社YK Steel棒鋼事業の51%持分の韓国 Daehan Steel (KRX: 084010)への売却案件

# 売上高の四半期推移



# セグメント別売上高、成約件数、バンカー数の四半期推移

(百万円)	2019				FY2019	2020				FY2020
	Q1	Q2	Q3	Q4	合計	Q1	Q2	Q3	Q4	合計
<b>売上高</b>										
アドバイザー	4,323	4,681	6,001	7,733	22,737	3,037	2,573	5,936		11,546
アセットマネジメント	151	156	164	313	786	308	305	293		906
<b>合計</b>	<b>4,474</b>	<b>4,837</b>	<b>6,165</b>	<b>8,047</b>	<b>23,524</b>	<b>3,346</b>	<b>2,878</b>	<b>6,228</b>		<b>12,452</b>
<b>アドバイザー成約案件数</b>										
<b>合計</b>	<b>34</b>	<b>34</b>	<b>42</b>	<b>55</b>	<b>165</b>	<b>32</b>	<b>27</b>	<b>40</b>		<b>99</b>
<b>バンカー数</b>										
<b>合計</b>	<b>297</b>	<b>306</b>	<b>307</b>	<b>325</b>	<b>325</b>	<b>338</b>	<b>383</b>	<b>377</b>		<b>377</b>

# 費用の明細

(百万円)	Non-GAAP		差異	%	IFRS	
	FY2019 Q1-Q3 <sup>(1)</sup>	FY2020 Q1-Q3 <sup>(2)</sup>			調整 <sup>(3)</sup>	FY2020 Q1-Q3 <sup>(2)</sup>
費用						
人件費	9,824	7,649	(2,173)	(22.1)%	479	8,129
賃料・減価償却費	1,004	1,051	47	4.7 %	-	1,051
支払手数料	414	555	141	34.3 %	-	555
旅費・交際費	538	214	(323)	(60.2) %	-	214
情報管理費	319	332	14	4.4 %	-	332
その他	1,085	1,040	(44)	(4.1) %	56	1,097
<b>合計</b>	<b>13,183</b>	<b>10,843</b>	<b>(2,339)</b>	<b>(17.7)%</b>	<b>536</b>	<b>11,380</b>

注: (1) 2019年Q1-Q3平均為替レート: ¥109.15/USD および ¥139.05/GBP

(2) 2020年Q1-Q3平均為替レート: ¥107.60/USD および ¥136.80/GBP

(3) ステラ社買収時に買収対価として付与したGCA株式はIFRS上費用計上が求められますが、Non-GAAP上は買収関連費用として除外しております。協業先との報酬配分についてはNon-GAAP上、売上および費用双方から除外しております。

(4) 百万円未満切捨表示





# コーポレートガバナンス

## グローバルな取締役会構成

### 取締役



代表取締役  
渡辺 章博



取締役  
トッド・J.  
カーター



取締役  
ジェフェリー・D.  
バルドウィン



取締役  
アレクサンダー・  
M・グルンワルド



取締役  
フィル・アダムス



取締役  
サツシャ・ファイファー



取締役  
野々宮 律子



取締役  
ジョン・F  
ランブロス



取締役  
井田 明一

### 社外取締役

#### 監査等委員会



常勤社外取締役  
岩崎 二郎



社外取締役  
米 正剛



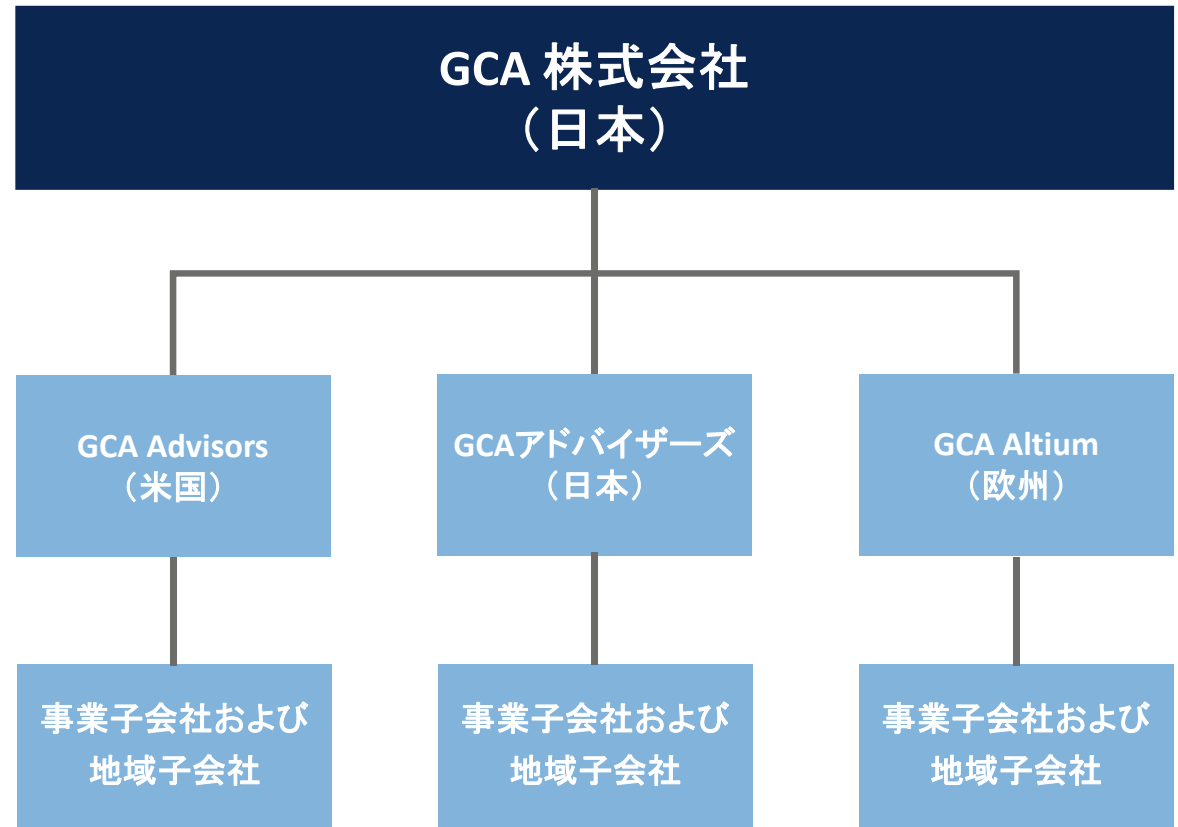
社外取締役  
松嶋 宏



社外取締役  
アンドレアス・R・  
キルヒシュレイガー

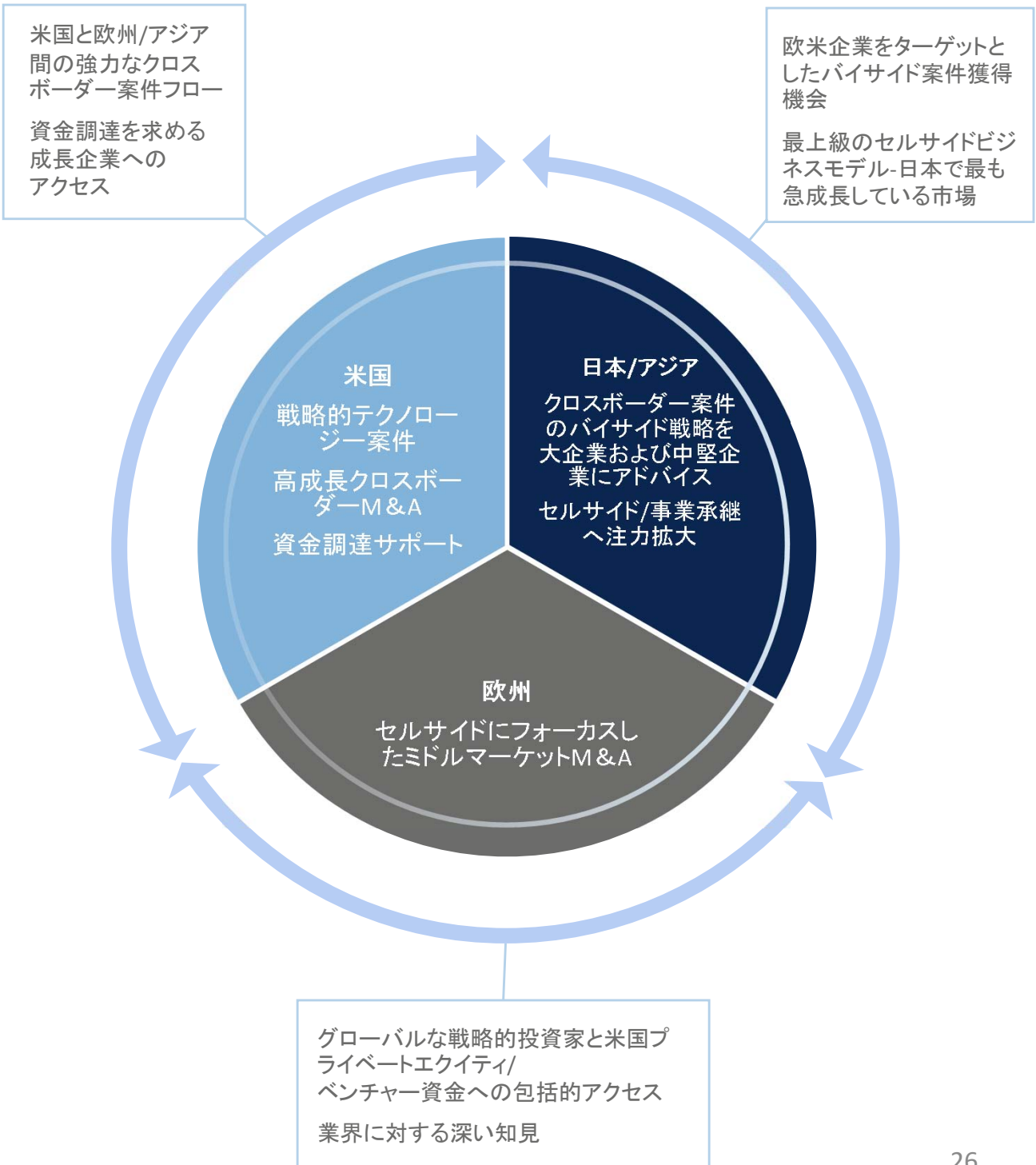
# グループ構成

GCA株式会社をグループの持株会社として、傘下に日米欧の3つの主要地域事業が位置するシンプルなグローバル組織構造



# コアビジネスモデル

強力なシナジーを備えた統合  
グローバルプラットフォーム



ウェブサイト : <https://www.gcaglobal.co.jp/about-gca/who-we-are/>

